



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理本部長 (氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7178-6530
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,637	12.2	1,040	14.6	1,045	14.2	688	8.9
2019年3月期第3四半期	12,154	4.1	907	21.4	915	21.0	631	26.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 715百万円(14.2%) 2019年3月期第3四半期 626百万円(△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	84.16	83.35
2019年3月期第3四半期	77.31	76.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,329	12,863	72.6
2019年3月期	16,067	12,338	75.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,579百万円 2019年3月期 12,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	7.5	1,390	5.5	1,410	5.7	965	2.3	118.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 成光産業株式会社、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,745,408株	2019年3月期	8,745,408株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	569,518株	2019年3月期	569,518株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,175,890株	2019年3月期3Q	8,170,579株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の改善に遅れがみられたものの、政府による経済政策等により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、都市再開発やインフラ整備、東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心として、民間設備投資・公共投資ともに底堅い動きがみられました。しかしながら、建設技能労働者の慢性的な不足は解消されておらず、引き続き施工体制の確保が重要な課題となっております。また、資材価格や労務費の高止まりが続き、決して楽観できない経営環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「中期経営ビジョン 2020」のもと、成長戦略のキーワードとして掲げる「安定供給」、「安定品質」、「市場創出」のいっそうの促進に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,637百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益1,040百万円（同14.6%増）、経常利益1,045百万円（同14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は688百万円（同8.9%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

① ファスニング事業

各種設備工事等の需要は、民間工事においては前年を下回りましたが、公共工事において前年を上回る水準を維持しており、全体としての需要は堅調に推移しております。これに伴い、当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売は好調に推移いたしました。また、完成工事高が微減となった一方、ドリル・ファスナー製品の販売が増加したことから、総じて堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は10,236百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は1,320百万円（同0.9%増）となりました。

② 機能材事業

電動油圧工具関連の販売が、国内・海外ともに好調に推移いたしました。また、電子基板関連およびアルコール検知器関連が好調に推移した一方、FRPシート関連は減少いたしました。さらに、新たに包装・物流機器関連が加わったことにより売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は3,401百万円（同49.5%増）、セグメント利益は352百万円（同72.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,262百万円増加して17,329百万円となりました。これは主として現金及び預金、たな卸資産、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より737百万円増加して4,466百万円となりました。これは主として短期借入金、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より524百万円増加して12,863百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日公表の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,350,454	1,757,901
受取手形及び売掛金	3,797,889	3,739,508
たな卸資産	3,775,784	4,382,297
その他	502,377	521,297
貸倒引当金	△455	△806
流動資産合計	9,426,051	10,400,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,563,493	1,598,980
土地	3,114,253	3,426,094
その他(純額)	681,576	645,730
有形固定資産合計	5,359,323	5,670,805
無形固定資産	64,718	76,539
投資その他の資産	1,217,599	1,182,301
固定資産合計	6,641,641	6,929,647
資産合計	16,067,692	17,329,846
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,353,387	1,345,264
短期借入金	54,155	433,240
未払法人税等	253,494	121,880
賞与引当金	122,790	124,709
その他	507,175	593,066
流動負債合計	2,291,003	2,618,160
固定負債		
長期借入金	131,653	500,781
役員退職慰労引当金	20,784	14,358
退職給付に係る負債	1,141,090	1,164,075
その他	144,234	168,630
固定負債合計	1,437,761	1,847,844
負債合計	3,728,765	4,466,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	590,562	581,208
利益剰余金	10,633,512	11,125,373
自己株式	△229,501	△229,501
株主資本合計	11,763,162	12,245,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,924	29,900
繰延ヘッジ損益	88,410	77,273
為替換算調整勘定	199,036	226,350
その他の包括利益累計額合計	320,371	333,524
新株予約権	51,733	57,538
非支配株主持分	203,659	227,106
純資産合計	12,338,927	12,863,840
負債純資産合計	16,067,692	17,329,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	12,154,235	13,637,969
売上原価	8,356,156	9,444,915
売上総利益	3,798,079	4,193,053
販売費及び一般管理費	2,890,221	3,152,385
営業利益	907,858	1,040,668
営業外収益		
受取利息	1,010	1,006
受取配当金	3,523	4,879
仕入割引	24,544	23,262
為替差益	43,129	43,210
投資不動産賃貸料	20,151	16,189
持分法による投資利益	696	784
その他	20,251	24,235
営業外収益合計	113,305	113,568
営業外費用		
支払利息	929	2,492
売上割引	89,346	95,351
その他	15,328	11,064
営業外費用合計	105,604	108,909
経常利益	915,558	1,045,328
特別利益		
固定資産売却益	25,598	18
特別利益合計	25,598	18
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	325	32
投資有価証券評価損	-	561
特別損失合計	327	593
税金等調整前四半期純利益	940,830	1,044,752
法人税等	301,392	349,030
四半期純利益	639,437	695,721
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,769	7,639
親会社株主に帰属する四半期純利益	631,668	688,082

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	639,437	695,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,845	△3,023
繰延ヘッジ損益	△21,492	△11,136
為替換算調整勘定	11,477	33,857
その他の包括利益合計	△12,860	19,697
四半期包括利益	626,577	715,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616,529	701,235
非支配株主に係る四半期包括利益	10,047	14,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、成光産業株式会社及びその子会社である成光パック株式会社を株式の取得により子会社化し、連結の範囲に含めております。

なお、成光産業株式会社は、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,879,670	2,274,565	12,154,235	-	12,154,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,702	161,105	221,807	△221,807	-
計	9,940,373	2,435,670	12,376,043	△221,807	12,154,235
セグメント利益	1,308,923	204,111	1,513,034	△605,176	907,858

(注) 1. セグメント利益の調整額△605,176千円には、セグメント間取引消去5,073千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△610,250千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,236,937	3,401,032	13,637,969	-	13,637,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	77,691	212,277	289,968	△289,968	-
計	10,314,628	3,613,309	13,927,937	△289,968	13,637,969
セグメント利益	1,320,309	352,698	1,673,008	△632,340	1,040,668

(注) 1. セグメント利益の調整額△632,340千円には、セグメント間取引消去1,425千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△633,765千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2019年4月10日に行われた成光産業株式会社との企業結合について第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この結果、暫定的に算出されたのれんの金額3,941千円は、会計処理の確定により25,806千円増加し、29,748千円となっております。のれんの増加は主として、有形固定資産が42,484千円減少し、繰延税金負債が8,009千円減少したことによるものです。

なお、のれんの償却期間は5年にわたる均等償却であります。